

議 事 録

会議の名称	第13回上牧町学校統合準備委員会（総務部会）会議	
開催日時	令和7年1月14日 午後2時00分から	
開催場所	上牧町役場 西館2階 第6会議室	
出席者 （委員等）	西尾部会長、福仲委員、大西委員、北浦委員、西浦委員、竹本委員、 上西委員	
出席者 （事務局等）	教育総務課長、教育総務課長補佐	
傍聴の有無	なし	
議事録の 作成方法	要点筆記（簡易対話形式）	
会議の議事	議題No.	議題の名称
	1	開会
	2	制服デザイン投票の結果について
	3	校歌フレーズ募集の結果について
	4	保護者説明会について
	5	統合中学校の教育課程について
	6	その他（連絡事項等）
	7	閉会
会議資料	資料No.	資料の名称
	8-1	統合中学校制服デザイン投票結果（速報）
	8-2	統合中学校制服デザイン投票結果一覧表
	9-1	統合中学校校歌フレーズ募集結果（速報）
	9-2	統合中学校校歌フレーズ募集結果一覧表
	10	上牧町立中学校の統合に関する保護者説明会（抜粋）
11	上牧中学校教育課程（案）	
決定事項	※本文参照	
特記事項	なし	
次回日程	未定	

内容（簡易対話形式）

1. 開会

事務局 定刻により開会する。
なお、本会議は「上牧町審議会等の設置及び運営に関する規則」第10条の規定に基づいて公開とし、会議録作成のためICレコーダーで録音していることについてご了承いただきたい
それでは、配付資料について確認する。

（事務局が配付資料を確認）

2. 制服デザイン投票の結果について

西尾部会長 それでは案件事項の議事を進める。
まずは、「制服デザイン投票の結果について」ということであるが、事務局から資料について説明をお願いしたい。

（事務局が資料説明）

西尾部会長 投票の結果、制服本体がA-I案、エンブレムがD案が最多得票であったとのことであるが、ただいまの説明に関する質問、意見等はあるか。

事務局 一点補足説明する。同じメールアドレスからの重複投票があったが、保護者のスマートフォンから投票した児童生徒がいる可能性があるため、同じメールアドレスからの投票で、属性（投票者情報）もしくは投票内容が異なるものについては、有効とした。完全に同じものについては、日時が最も直近の投票のみ有効とした。また、属性を複数選択されている投票については、選択された属性数を票数としてカウントとしている。

西尾部会長 最も票数を集めた制服本体とエンブレムのサンプルを本日会場に展示していただいているが、部会の見解としては今回の投

票結果のとおり、こちらのデザイン案（制服 A-1、エンブレム D）を採用するという事によいか。

（異議等なし）

西尾部会長 事務局におかれては、この検討結果を次回の学校統合準備委員会において報告・審議いただくよう準備をお願いします。

事務局 承知した。

3. 校歌フレーズ募集の結果について

西尾部会長 次に、「校歌フレーズ募集の結果について」ということであるが、事務局から資料について説明をお願いしたい。

（事務局が資料説明）

事務局 今回の結果を踏まえ、二点最終協議をお願いしたい。一点目は、校歌を新たに制作する方向で進めることについて、二点目は、制作方法についてである。専門業者に委託することについて、部会での意見をまとめていただきたい。本日の協議結果を次回の学校統合準備委員会、教育委員会会議に報告し、承認を得て、進めていくこととしたいと考えている。

西尾部会長 10 件の応募があったということであるが、ただいまの説明に関する質問、意見等はあるか。

大西委員 フルサイズで応募されているかたは、上牧中学校や上牧第二中学校の現在の校歌の歌詞から引用されているのか。

事務局 何か参考にされているのかもしれないが、少なくとも既存の校歌を加工して応募したということではないと思う。ご自身で作詞されたようだ。

北浦委員	募集するに当たっての枠組みはあったのか。
事務局	投票方法としては、Google フォームから応募いただく方法をとらせていただいた。また、案内・周知については、広報紙の折込チラシのほか、町ホームページ、SNS で募った。
北浦委員	理念や方針は示したのか。「この考え方に基づいて、応募してください」というような募集のしかたはしていないのか。
事務局	折込チラシには上牧中学校、上牧第二中学校それぞれの校歌の歌詞を掲載したが、基本的には町民の思いが込められた校歌の制作という観点から縛りなく自由に応募していただいた。
上西委員	両校の校歌は投票フォームに掲載していないのか。
事務局	投票フォームには掲載できていないが折込チラシには掲載した。折込チラシに関しては、全戸配布しているので、ほとんどの町民には行き届いていたと思う。また、今回の折込チラシは、学校適正化だよりとして発行したので、町ホームページにも掲載している。今回、応募されたかたも両校の校歌は見えていたのではないかと思う。
北浦委員	フレーズはどれくらい集めるのか。
事務局	追加募集の予定はなく、今回の募集で寄せられたフレーズをもとに、制作することを想定している。
北浦委員	校歌の制作を業者に発注することを想定しているのか。
事務局	校歌の制作に当たっては、いくつか方法があると思う。生徒主体で制作する方法や地元には有名な音楽家のかたがいる場合であれば、そのかたと一緒に制作するという方法もある。専門の業者に依頼するというのも、それらの選択肢のなかのひとつである。

福仲委員	マリンバ奏者のかたなら町内にいるが、そのかたくらいしか存じ上げない。
事務局	作詞・作曲となるとハードルが上がる。
西尾部会長	シンガーソングライターのかたもいる。
事務局	それも考えていた。依頼すれば、引き受けてくれるかもわからないが、本人的にやりたいというよりは、断れないからやむを得ず引き受けるという感じにならないか気がかりである。若いかたなので、作風的にどうしても賛否が分かれそうである。
福仲委員	批評が本人に直接届いてしまう恐れもある。
上西委員	校歌の制作についてであるが、現在の上牧中学校の校歌のままでいいという意見がなかったので、新しい校歌を制作する方向で進めてもらいたい。上牧第二中学校の歌詞をできるだけ入れてほしいという意見もある。両校の生徒が新しい校歌を学ぶことで、自分たちの校歌という意識も芽生えるのではないか。
西尾部会長	新たに校歌を制作するという点については、制作する方向になるのかと思っている。ただ、業者に校歌の制作を発注するのであれば、ふさわしいフレーズを厳選したほうがいいのではないかと思うが、全部を業者に任せるかたちで考えているのか。
事務局	一旦、今回寄せられたフレーズをすべて共有し、制作されたものをたたき台として、部会で評価・審議していただこうと考えている。
西尾部会長	校歌は新たに制作するという方向でよいか。
(異議等なし)	
西尾部会長	制作方法はどうか。ここで協議すればいいか。

事務局	事務局からは、校歌の制作に関しては、専門業者に依頼するという案をお示しさせていただいているが、いくつか方法があるなかで、どの方法を取るのがいいのか、部会のなかで検討していただきたいということである。
福仲委員	校歌の制作に当たっては、先ほど北浦委員の発言にもあったように、統合の理念や統合する中学校の方向性も踏まえて制作することが大事である。そうなると、このあとの議題である教育課程も大きく関わってくる。教育課程をフレーズと一緒に業者に提供することで、統合中学校の理念を踏まえた校歌になるのではないかと考える。
西尾部会長	他に意見はないか。専門業者に発注するという方針でよければ、一旦この議論を終えて、教育課程の議論をしたのちに、フレーズに関する議論に戻ることもできる。
竹本委員	そもそも校歌を新しく制作するからフレーズを募集したのではないのか。
事務局	校歌の制作に関しては、校名が変わらなかったことから、制作する必要がないのではないかという意見がある。そのことを踏まえ、事務局案として、校歌フレーズの募集に当たり、校歌の制作に関する賛否を問い、一定数の反対意見があれば制作しないとする案をお示ししたが、一度統合に当たって、校歌を制作することを発信していることや、校名が同じでも二校が統合することにより、新たにできる中学校なので、校歌については制作することを基本にフレーズ募集を行い、校歌の制作に関する意見のなかで、反対意見が多数寄せられる状況であれば、再検討するという事になったと理解している。
竹本委員	チラシにも校歌の制作を予定していると記載しているので、制作する方向でいいと思う。
事務局	校歌を新たに制作することを前提とした募集ではあるが、制

作する必要があるという意見を述べられる項目はつくっていた。ある程度、校歌の制作は不要という意見も寄せられるのではないかと想定していたが、結果的にはなかった。

竹本委員 10件と母数は少ないが、貴重な意見・応募があるので、制作する方向でいいと思う。業者には作詞・作曲の両方を委託するのか。

事務局 校歌を制作することを専門にされている業者がある。

上西委員 このあとの議題である教育課程は、以前に検討・協議した「統合コンセプト」がもとになっているものである。統合コンセプトや教育課程をフレーズとともに示すことで、統合中学校にふさわしい校歌ができると思う。

西尾部会長 それでは、校歌に関しては新たに制作するという方向で進めることとする。校歌の制作に当たっては、専門業者に発注することとするが、統合中学校にふさわしい校歌となるよう、フレーズだけでなく、教育課程等も共有することとする。フレーズは部会で精査したほうがいいか。

事務局 部会で精査していただくか、もしくは一旦専門業者に預けて、制作されたたたき台をもとに、部会で検討・協議していただくかと考えている。

福仲委員 参考資料として、現在の校歌の楽譜も提供したほうがいいのではないか。

事務局 あったほうがよりよいと思う。

福仲委員 体育館に校歌が掲示されているが、それも新たに制作しないといけないと思う。

事務局 まだ見積書等は徴収できていないが、認識はしている。

4. 保護者説明会について

西尾部会長 次に、「保護者説明会について」ということで、1月18日に保護者説明会を行われるが、そのなかで、総務部会の検討状況等に関する説明もされるということである。事務局から資料について説明をお願いしたい。

(事務局が資料説明)

福仲委員 体操服と通学カバン、体育館シューズと上靴については、覚書を業者と交わしており、3年間は価格を変えないこととしている。

西尾部会長 資料で文言等、ほかに意見はないか。

事務局 体育館シューズ、上靴のことでお伺いするが、体育館シューズの色は何色か？

福仲委員 白色である。

事務局 上靴の色は何色か？

福仲委員 令和8年度は、1年生が青色、2年生が黄色、3年生が緑色である。

上西委員 この保護者説明会は両方の中学校でするのか。

事務局 小学校区単位で行う。

上西委員 対象は？

事務局 参加対象は、現在中学1年生の生徒をもつ保護者のかたと、町立小学校に通われている小学生の保護者のかたとしている。

西尾部会長 それでは、保護者説明会の資料については、指摘事項を修正い

ただくようお願いします。

事務局 承知した。

5. 統合中学校の教育課程について

西尾部会長 次に、「統合中学校の教育課程について」ということで、先ほど校歌の議題でも出てきたが、事務局から資料について説明をお願いしたい。

(事務局が資料説明)

福仲委員 補足すると、この案については、これまで学校統合準備委員会で議論されていたコンセプト等の内容を踏襲するようなかたちで作成した。教育課程が決定できれば、統合中学校での行事や申し合わせ事項(校則)の検討に進むことができる。また、授業配当については、新学習指導要領が令和9年度に出てくるのではないかと予想されており、その際に時間が変わる可能性があるが、令和8年度時点では、現行どおりなので据え置いている。備考欄に関しては、2校ともほぼ同じだが、毎日10分間の読書については、現在の上牧中学校の名称(上中タイム)に合わせている。

西尾部会長 ただいま説明があった内容について、意見・質問等はないか。

北浦委員 基本理念の「想像する」のところ、「一人一人の個性を守り、～」とあるが、「個性を守る」という表現に違和感がある。学校教育目標のなかにある「主体性を育む」の説明文中の「探求」は、教育のなかにおいては「探究」ではないか。

福仲委員 表現に関しては、私も全体的に違和感があったが、既に承認されているものを変えるのが難しいと考え、そのままの表現にした。

事務局	おっしゃるとおり、統合コンセプトに関しては、すでに学校統合準備委員会、教育委員会会議でも報告済みのものであり、町民にも学校適正化だよりで周知している。統合コンセプトに関しては、これからさまざまな事項を決定していくに当たっての基本的な考え方・大きな方向性として設定したものであるが、そのなかで教育課程の基本理念にある表現が示されていたということである。
福仲委員	統合時の校長先生がグランドデザインを作成するので、そのなかでは修正を加えていくことになると思うが、教育課程（案）の作成に当たっては、これまでの議論の内容を踏襲した。
事務局	教育課程のなかで、統合コンセプト等、これまでの議論の内容が反映されているのは、「3. 目指す生徒像」までだと思う。
大西委員	内容を変える必要はないと思うが、文言（表現）の見直しはしたほうがいいのではないか。
事務局	統合コンセプトの内容との整合は当然とらないといけないが、表現まで完全に一致している必要はないと思う。教育課程の議論のなかで、表現を見直したほうがいいということであれば、適宜修正等の対応をしてもらいたい。
大西委員	例えば、基本理念であれば、「生徒」が主語になると思うが、「学力向上に取り組む」のは、生徒というより教職員のようと思うし、「創造する」のところも、「何を」創造するのか不明瞭であるように思う。「学校教育目標」（4つの育み）のところも、「～はもとより、～」という表現も、適切さに欠ける感じがする。
北浦委員	学力向上に関しては、生徒が主語になるなら「取り組み」より「励み」のほうがいいのではないか。

竹本委員 個性に関しては、「守り」より「伸ばし」とか「磨き」、「発揮し」という表現のほうが良いように思う。文言のつながりを考えると文章の構成も見直したほうが良い。基本的に短く、端的な表現にしたほうが良いのではないか。

(「1. 基本理念」の表現の見直し作業)

西尾部会長 「1. 学校教育目標」は以下のとおり、修正することとする。

「学ぶ」 「学力向上に励み、人間尊重の心を学ぶ」
「つながる」 「互いに切磋琢磨し、助け合い、仲間とつながる」
「創造する」 「一人一人の個性を伸ばし、チャレンジし、未来を創造する」

(「2. 学校教育目標」の表現の見直し作業)

西尾部会長 「2. 学校教育目標」(4つの育み)は以下のとおり、修正することとする。

「人間尊重の心を育む」 「自他を大切にし、互いの個性を知り、認め、協調することで、人間尊重の心を育む学校を目指します。」
「生きる力を育む」 「積極的なコミュニケーションやチャレンジを通して“未来をたくましく生きる力”を育む学校を目指します。」
「主体性を育む」 「何事も基礎を大切にし、考え、探究することで、主体性を育む学校を目指します。」
「社会性を育む」 「地域と協働し、一人一人の社会性を育む学校を目指します。」

(「3. 目指す生徒像」の表現の見直し作業)

西尾部会長	<p>「3. 目指す生徒像」(4つの像)は以下のとおり、修正することとする。</p> <p>「心優しい生徒」 「自分を心から好きになり、他者理解に努め、命と人権を大切にできる生徒」</p> <p>「自律した生徒」 「自ら考え、行動し、広い視野を持って、未来をたくましく生きていくことができる生徒」</p> <p>「主体的な生徒」 「確かな学びを実現するために、何事にも主体的・意欲的に取り組むことができる生徒」</p> <p>「地域を愛する生徒」 「個性を発揮し、地域で協働できる生徒」</p> <p>(「4. 目指す教職員像」の表現の見直し作業)</p>
西尾部会長	<p>「4. 目指す教職員像」(4つの像)は以下のとおり、修正することとする。</p> <p>「人権感覚に優れた行動」 「「命と人権」をキーワードにした教育活動」</p> <p>「教育的使命感に基づいた行動」 「個々の生徒の良さや豊かな人間性を高める教育活動」</p> <p>「専門的知識に基づいた授業実践」 「「主体的に学び続ける力」の育成を目指した分かりやすい授業の創造」</p> <p>「家庭・地域との連携」 「地域とともにある教育の創造に向けた開かれた学校づくり」</p>
西尾部会長	<p>ほかに意見等はあるか。</p>
福仲委員	<p>教育課程については、この内容で承認されれば、行事関係や申し合わせ事項(校則)等についても、順次検討を進めてもよいか。</p>
事務局	<p>学校統合準備委員会と教育委員会会議の承認が必要になるが、学校統合準備委員会については早ければ2月、遅くとも3月に開催する予定である。その後、教育委員会会議での審議を予定</p>

しているので、学校統合準備委員会及び教育委員会会議の承認を得たのち、順次進めてもらいたい。

福仲委員 承知した。

西尾部会長 それでは、教育課程については、修正の上、次回の学校統合準備委員会にて報告・審議いただくよう準備をお願いします。

事務局 承知した。

4. その他（連絡事項等）

西尾部会長 最後に、委員又は事務局から何か連絡事項等はあるか。

（連絡事項等なし）

西尾部会長 それでは、本日の案件事項は以上となるため事務局に進行を移したいと思う。

5. 閉会

事務局 以上をもって第13回上牧町学校統合準備委員会（総務部会）会議を閉会する。

以上